

ひろしま国際建築祭2025

Hiroshima Architecture Exhibition 2025

2025
10.4 Sat 11.30 Sun

Fukuyama
Onomichi

後援 | 文化庁 広島県 福山市 尾道市 一般社団法人せとうち観光推進機構 一般社団法人広島県観光連盟 (HIT) 広島商工会議所 福山商工会議所 尾道商工会議所 一般社団法人日本建築学会 一般社団法人日本建築協会 公益社団法人日本建築家協会 公益社団法人日本建築士会連合会 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会 一般社団法人日本建築設計学会 中国新聞社
メディアパートナー | designboom Dezeen <https://hiroshima-architecture-exhibition.jp/>

協賛: ツネインホールディングス 常石造船 ツネインカムテックス 浅沼組 モルテン

ウッドワン ひろぎんホールディングス ちゅうぎんフィナンシャルグループ 三井住友銀行 中国新聞社 エフピコ

マリモ 両備ホールディングス 日東製網 イシカワホールディングス 南方ホールディングス

尾道造船 モトヤユナイテッド 安田工業 加計学園 アトム ベッセルグループ 大和建設

光和物産 ヒロマツホールディングス イズミ グロース テラル 安保商店

山丸汽船 PARIGOT 堀田組 ホーコス 三井不動産

ようこそ、『ひろしま国際建築祭2025』へ！

〈ひろしま国際建築祭〉は、“建築”で未来の街をつくり、こどもの感性を磨き、地域を活性化させ、地域の“名建築”を未来に残すことをミッションとして掲げ、3年に一度、開催する建築文化の祭典です。

初回となる今回は、福山・尾道2都市にある7つの会場+3つの移動型キオスク（小さな建築）を加え、23組の建築家・クリエイターが出展します。

巨大な内海に面した瀬戸内地域では古来、風土や景観、伝統に呼応した名建築の数々が生まれてきました。その背景には、日本が国家として形づくられた遣隋使・遣唐使の時代から近世の朝鮮通信使・北前船にいたるまで、広島県の位置する瀬戸内海が“文化・物流の大動脈”だったことが理由としてあります。日本はこの瀬戸内海を通じ、海外から人や文化を招き入れ、あるいは発信し、この海を通じ文化交流を行ってきました。古建築はもとより、自然と文明が築いてきた瀬戸内地域特有の磁力に吸い寄せられるように丹下健三、横文彦、安藤忠雄、伊東豊雄、SANAA、坂茂といった現代の建築家たちも挑戦的で実験的な名作を次々と生み出しています。それゆえに瀬戸内地域は古建築から現代建築まで「建築文化の集積地」として貴重な建築の宝庫となっているのです。

“文化・物流の大動脈”であった瀬戸内海の周辺地域は“つなぐ”ことを鍵にその礎を築いてきたといえます。『ひろしま国際建築祭2025』は、「つなぐ“建築”で感じる、私たちの“新しい未来” Architecture：A New Stance for Tomorrow」をテーマに、歴史、風土、景観、技術、思想などさまざまな視点から“建築”に触れ、考え、交わる機会をつくり、ここ瀬戸内で建築文化を感じることから、みなさんと“新しい未来”像を探りたいと考えています。

『ひろしま国際建築祭2025』総合テーマ

つなぐ——「建築」で感じる、私たちの“新しい未来” Architecture: A New Stance for Tomorrow

地球規模で発生する自然災害や、戦争とそれに伴う難民問題、そして環境破壊 21世紀に入って四半世紀経った今も、私たちは様々な問題に直面し、不安を感じながら日常生活を送っています。

またここ日本では少子化・高齢化が進み、経済の停滞や無秩序な開発で街の風景が変わるなど、活気が失われつつあります。

私たちはそのような状況のなかで、問題にどう向き合い、課題を解決していくべきでしょうか？ “建築”は単に建物や街づくりを指すものではありません。

それは文化を生み・育み、私たちの生活をより豊かにしながら未来をつくっていくための「知恵」のひとつです。

建築祭を通じ、私たちの“新しい未来”について、考えてみたいと思います。

出展建築家・作家INDEX (50音順)

安藤忠雄

尾道エリア (MAP ㊟)

尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する9人の建築家』

磯崎新

尾道エリア (MAP ㊟)

尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する9人の建築家』

伊東豊雄

尾道エリア (MAP ㊟)

尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する9人の建築家』

高野ユリカ

尾道エリア (MAP ㊟)

まちなか文化交流館「Bank」

④「うつすからだと うつしの建築」

石上純也

福山城周辺エリア (MAP ㊟)

JR福山駅南口

③移動型キオスク-小さな建築プロジェクト『雲がおりる』

神勝寺エリア (MAP ㊟)

神勝寺 禅と庭のミュージアム

⑨『NEXT ARCHITECTURE | 「建築」で つなぐ新しい未来』

川島範久

神勝寺エリア (MAP ㊟)

神勝寺 禅と庭のミュージアム

⑨『NEXT ARCHITECTURE | 「建築」で つなぐ新しい未来』

妹島和世 (SANAA)

尾道エリア (MAP ㊟)

尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する9人の建築家』

インフォメーション



「トークイベント」

建築祭の期間中、伊東豊雄氏、山本理顕氏、坂茂氏、石上純也氏ほかのトークイベントを実施します。福山・尾道に、たくさんの建築家の方々が訪れますので、この貴重な機会をお見逃しなく。

「ワークショップ」

親子で参加できる特別なワークショップを神勝寺で行います。参加費用は無料です。建築祭の期間中、展示だけでなく、身体を動かしながら「建築」にお子さんと一緒に触れていただくチャンスです。

「特別応援プログラム」

『ひろしま国際建築2025』をサポートいただく特別応援プログラムです。建築家・堀部安嗣氏、藤本壮介氏、石上純也氏、長坂常氏、彫刻家・名和晃平氏の協力のもと行います。

(寄付金は、経費を差し引いた残りをすべてが、建築祭の設営・運営費に充てられます)

「映画上映」

『ひろしま国際建築祭2025』の連携プログラムとして、尾道駅前のレトロな風情が魅力的な映画館「シネマ尾道」にて、建築にまつわる映画を上映します（特集上映『映画の中の建築』）。「シネマ尾道」は、市民に支えられながら、尾道の映画文化を守るためにNPO法人が運営する尾道市唯一の映画館です。

「ボランティア募集」

建築祭の運営（受付・看視・会場でのお手伝いなど）をサポートいただける方を募集しています。対象は高校生以上から。ボランティアの経験や建築の知識は問いません。ぜひご協力をお願いいたします。

丹下健三

神勝寺エリア (MAP ㊟)

神勝寺 禅と庭のミュージアム

⑩『建築文化再興プロジェクト「成城の家」の 写し——丹下健三の自邸の再現・予告展』

尾道エリア (MAP ㊟)

尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する9人の建築家』

長坂常

尾道エリア (MAP ㊟)

LLOVE HOUSE ONOMICHI

③『OPEN LLOVE HOUSE | 尾道「半建築」展』

中山英之

尾道エリア (MAP ㊟)

ONOMICHI U2 前オリーブ広場

⑥移動型キオスク-小さな建築プロジェクト『風景が通り抜けるキオスク』

西沢立衛 (SANAA)

尾道エリア (MAP ㊟)

尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する9人の建築家』

藤井厚二

福山城周辺エリア (MAP ㊟)

ふくやま美術館（ギャラリー）

⑦『後山山荘（旧・蔦然荘）の100年とその後へ | 福山が生んだ建築家・藤井厚二』

坂茂

尾道エリア (MAP ㊟)

尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する9人の建築家』

藤本壮介

神勝寺エリア (MAP ㊟)

神勝寺 禅と庭のミュージアム

⑨『NEXT ARCHITECTURE | 「建築」で つなぐ新しい未来』

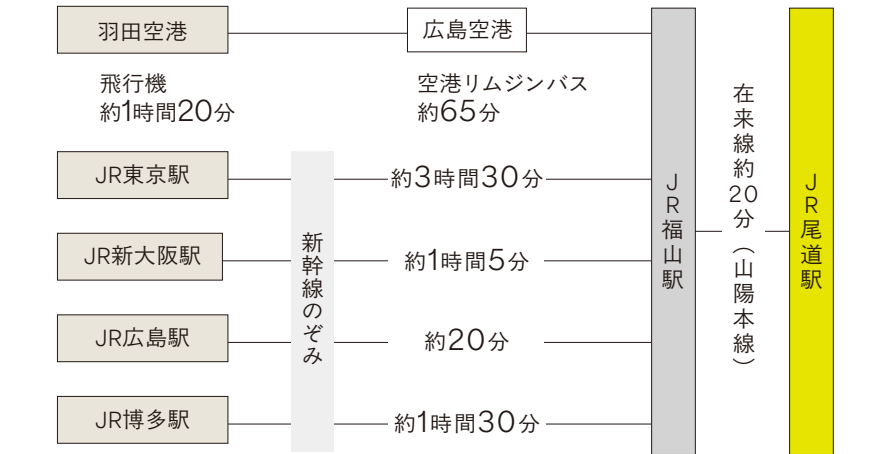
前田圭介

福山城周辺エリア (MAP ㊟)

ふくやま美術館（ギャラリー）

⑦『後山山荘（旧・蔦然荘）の100年とその後へ | 福山が生んだ建築家・前田尚武』

アクセス



※電車であれば、新幹線「のぞみ」が1時間に1本停車する「JR福山駅」からのアクセスがおすすめです（東京～福山まで新幹線「のぞみ」で約3時間30分）（博多～福山まで新幹線「さくら」で約1時間30分）。

※飛行機であれば「広島空港」が最寄りの空港で、JR福山駅まではリムジンバスが1日6本出ています（広島空港～福山駅までリムジンバスで約65分）

※尾道へは、JR福山駅からJR尾道駅まで、電車（山陽本線）で約20分です。

福山へのアクセス

電車をご利用の場合

飛行機をご利用の場合

お車をご利用の場合

詳しくはこちらをご覧ください。https://www.fukuyama-kanko.com/travel/oyakudachi/k_access.php

尾道へのアクセス

電車をご利用の場合

飛行機をご利用の場合

お車をご利用の場合

詳しくはこちらをご覧ください。<https://www.ononavi.jp/access/access.html>

横文彦

尾道エリア (MAP ㊟)

尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する9人の建築家』

山本理顕

尾道エリア (MAP ㊟)

尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ 跳躍する9人の建築家』

VUILD / 秋吉浩気

神勝寺エリア (MAP ㊟)

神勝寺 禅と庭のミュージアム

⑨『NEXT ARCHITECTURE | 「建築」で つなぐ新しい未来』

Clouds Architecture Office

神勝寺エリア (MAP ㊟)

神勝寺 禅と庭のミュージアム

⑨『NEXT ARCHITECTURE | 「建築」で つなぐ新しい未来』

けんちくセンター CoAK

尾道エリア (MAP ㊟)

ONOMICHI U2

⑤『「ZINE」から見る日本建築の Now and Then』

スタジオ・ムンバイ / ビジョイ・ジェイン

尾道エリア (MAP ㊟)

LOG

②『Architecture Voice from LOG | 「建築」の声を聞く』

UMA / design farm

尾道エリア (MAP ㊟)

LOG

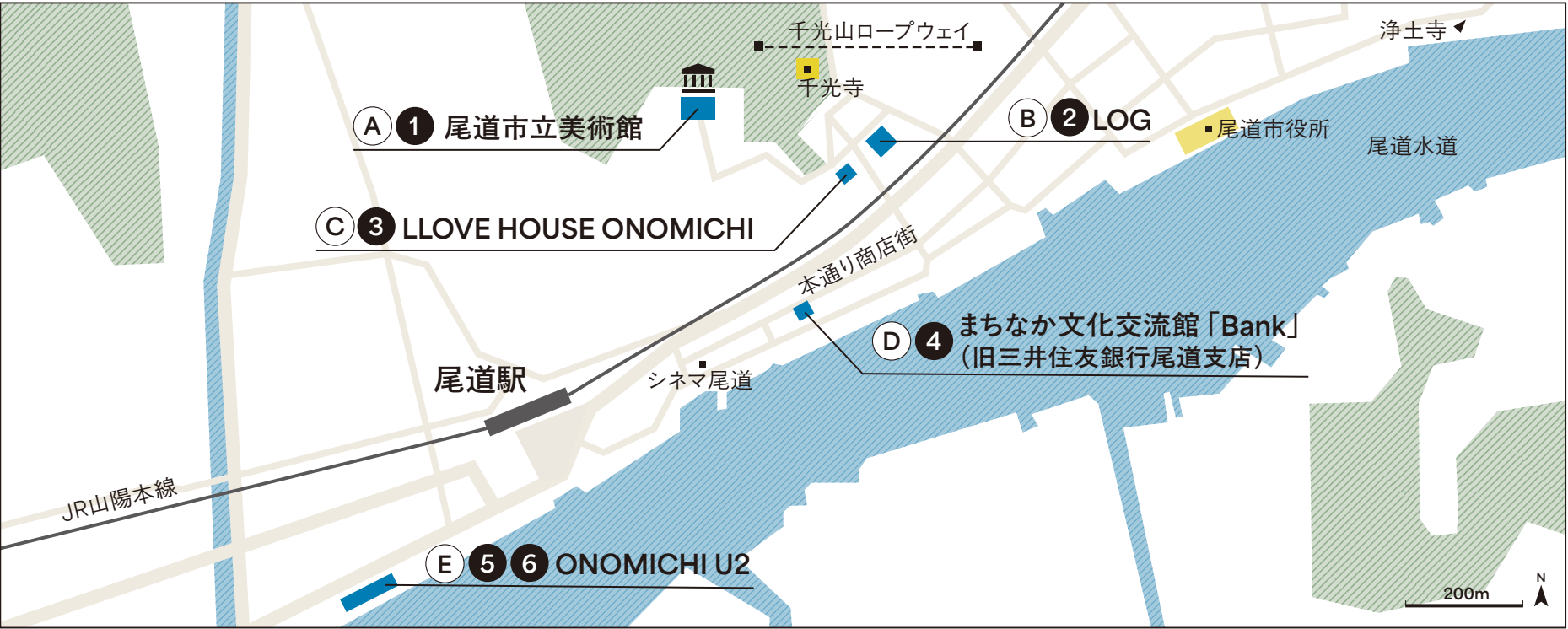
②『Architecture Voice from LOG | 「建築」の声を聞く』

出展建築家 / 作家のプロフィールはこちらをご覧ください。

公式HPはこちら

ひろしま国際建築祭2025 Hiroshima Architecture Exhibition 2025
主催 | 神原・ツネイン文化財団 Kambara & Tsuneishi Foundation
総合テーマ | つなぐ——「建築」で感じる、私たちの“新しい未来”
Architecture: A New Stance for Tomorrow
総合ディレクター | 白井良邦 Yoshikuni Shirai
チーフキュレーター | 前田尚武 Naotake Maeda

尾道エリア



④ 尾道市立美術館

建築界のノーベル賞と称される「プリツカー建築賞」の国別受賞数は日本が世界最多で、その魅力に迫る展示です。会場となる美術館の設計は建築家・安藤忠雄です。

○広島県尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内



photo: 尾道市立美術館

①『ナイン・ヴィジョンズ：日本から世界へ跳躍する9人の建築家
Nine Visions: Japanese Architects from Japan to the World』
出展建築家：丹下健三、横文彦、安藤忠雄、妹島和世・西沢立衛/SANAA、伊東豊雄、坂 茂、磯崎新、山本理顕

○公開時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
月曜休（月曜が祭日の場合は火曜休）
※10月18日（土）は20:00まで開館（入館は19:30まで）

⑥ LOG

LOGはカフェやギャラリーを併設したホテルです。1960年代の建物をインドの建築ファーム、スタジオ・ムンバイがリノベーション。ここでは体験型の展示が行われます。

○広島県尾道市東土堂町11-12



photo: 伊藤大輔

②『Architecture Voice from LOG |「建築の声」を聞く』
出展建築家・作家：スタジオ・ムンバイ/ビジョイ・ジェイン、UMA/design farm

○公開時間 11:00～17:00（最終受付16:30まで） 無休
※本展を観覧する方は1Fショップ（受付）までお越しください。
※「鑑賞パスポート」での見学は、1階及び2階のオープンエリアに限りです。
ただし、「鑑賞パスポート」をお持ちの方は、宿泊者専用2階ギャラリーを14:00～17:00まで見学できます。
※期間中、SHOPで建築祭公式グッズ、LOG会場限定商品を販売。
※施設の周囲は坂道（階段）のためアクセスは徒歩のみとなります
（車でのアクセスはできませんのでご注意ください）

③ LLOVE HOUSE ONOMICHI

建築家・長坂常が尾道で一目惚れした空き家を自ら購入・リノベーションし、文化交流拠点として再生した施設です。窓の外には尾道の美しい風景が広がります。

○広島県尾道市東土堂町8-28



③『OPEN LLOVE HOUSE | 尾道「半建築」展』
出展建築家：長坂常+スキーマ建築計画
○公開時間 10:00～17:00（最終受付16:30まで）
※この展示の期間は10/4（土）～10/13（月・祝）、11/22（土）～11/30（日）となります。
※10/4（土）～10/6（月）は、OBOGと現スタッフ約40名による「半トーク」を一般公開する予定です。
※施設の周囲は坂道（階段）のためアクセスは徒歩のみとなります
（車でのアクセスはできませんのでご注意ください）

⑩ まちなか文化交流館「Bank」

尾道本通り商店街にある築90年の元銀行だった建物を会場に、写真家・高野ユリカが尾道にある古建築や建築のある街の風景などをカメラに収めた写真展を開催します。

○広島県尾道市土堂1-8-3



photo: Naotake Maeda

④『うつすからだと、うつしの建築』
出展作家：高野ユリカ
○公開時間 10:00～18:00（最終入場17:45まで）水曜休
※この展示の開催期間は、10/4（土）～11/3（月・祝）です。

⑨ ONOMICHI U2

レストラン、カフェ、ホテルなどが入る尾道の人気施設（設計：サポーズデザインオフィス/谷尻誠+吉田愛）での企画は、鑑賞パスポートなしで見ることができます。

○広島県尾道市広島県尾道市西御所町5-11



photo: 鈴木健一

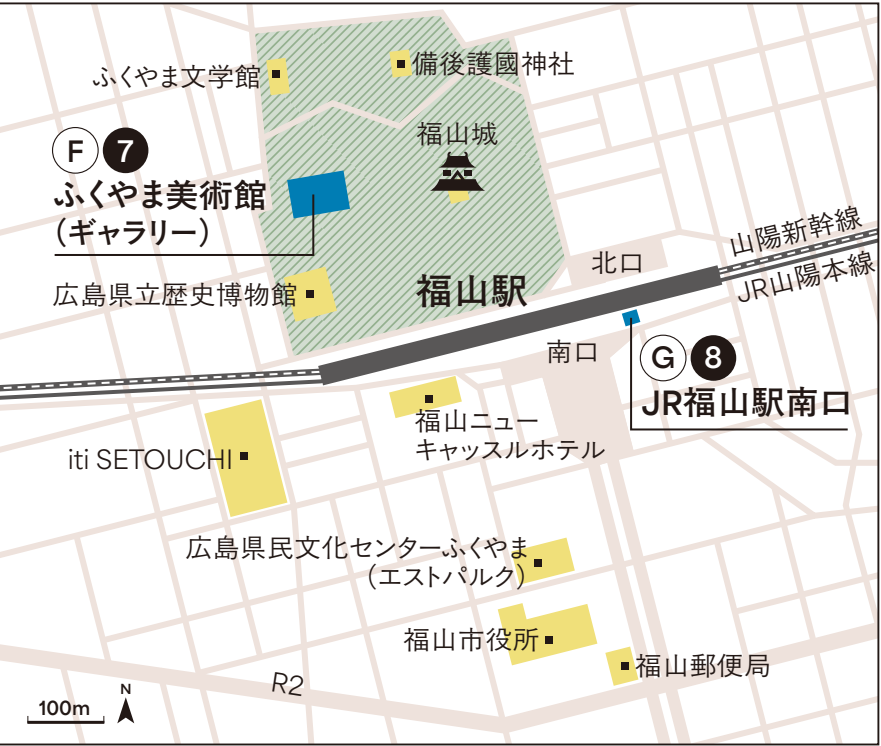
⑤『「ZINE」から見る日本建築のNow and Then』
出展作家：けんちくセンター CoAK
○公開時間 10:00～17:00 無休
※鑑賞パスポート不要、無料でご覧いただけます。

⑥移動型キオスクー小さな建築プロジェクト『風景が通り抜けるキオスク』
設計：中山英之×モルテン
○公開時間 10:00～17:00 無休
※鑑賞パスポート不要、無料でご覧いただけます。
※ ONOMICHI U2 前のオリーブ広場に設置しています。
※ 屋外展示のため、天候などにより展示時間等が変更になる場合があります。

尾道エリア

徒歩5分	ONOMICHI U2
徒歩 15分 タクシー・バス 5分	千光寺ロープウェイ乗り場
徒歩 20～25分 バス 15分	浄土寺
徒歩 30分 車・タクシー 10～15分	尾道市立美術館

福山城周辺エリア



⑦ ふくやま美術館（ギャラリー）

福山城近くに位置する福山市立の美術館では、地元・福山が生んだ建築家・藤井厚二と、その設計とされる鞆の浦の住宅に関する展示を行います。

○広島県福山市西町2-4-3



photo: 福山観光コンベンション協会

⑦『後山山荘（旧・轟然荘）の100年とその次へ | 福山が生んだ建築家・藤井厚二』
出展建築家：藤井厚二、前田圭介
○公開時間 9:30～17:00（最終受付は16:30まで）
月曜休（月曜が祭日の場合は火曜休）

⑧ JR 福山駅南口

新幹線や在来線、広島空港からのリムジンバスなどが発着するJR福山駅は、建築祭巡りの拠点ともいえる場所です。まずはここに立ち寄り情報収集をしてみてください。



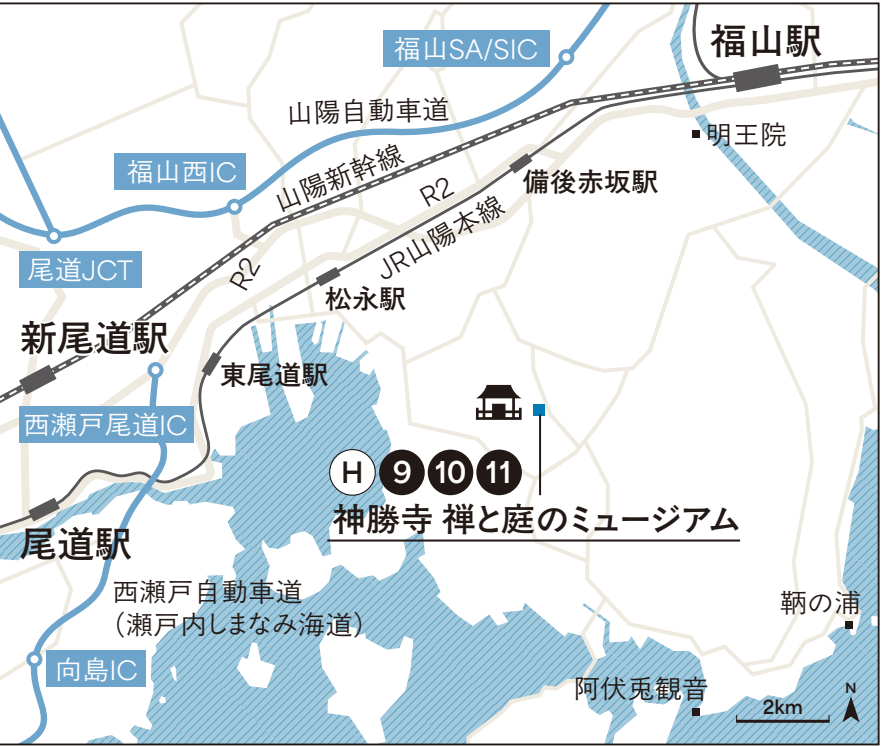
© jurya ishigami-associates

⑧移動型キオスクー小さな建築プロジェクト『雲がおりる』
設計：石上純也×常石造船×ツネイシカムテックス
○公開時間9:00～17:00 無休
※建築祭のインフォメーション・センターです。
※鑑賞パスポート不要、無料でご覧いただけます。
※屋外展示のため、天候などにより展示時間等が変更になる場合があります。
※鑑賞パスポートの販売は行っていませんのでご注意ください。
※チケットぴあで購入された方は、こちらで鑑賞パスポートとの引き換えを行ってください。
※『雲が降りる』は海外で制作し既に完成済みですが、台風の影響で輸送に遅れが生じています。
公開は10月10日前後を予定しています。それまでは簡易のインフォメーションセンターで営業しています。
ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

福山城周辺エリア

在来線で約20分（山陽本線）	JR 福山駅	JR 尾道駅
車で約40分		

神勝寺エリア



⑨ 神勝寺 禅と庭のミュージアム

7万坪の敷地に、古建築から現代建築まで建ち並ぶ臨済宗建仁寺派の特落地。この禅寺を舞台に、2つの展示と建築家・堀部安嗣設計の移動型キオスクがお目見えします。

○広島県福山市沼隈町大字上山南91



photo: 鈴木健一

⑨『NEXT ARCHITECTURE | 建築でつなぐ新しい未来』
出展建築家：藤本壮介、石上純也、川島範久、VUILD/秋吉浩気、Clouds Architecture Office
○公開時間9:00～17:00（最終受付は16:30まで） 無休

⑩『建築文化再興プロジェクト「成城の家」の写しー丹下健三自邸の再現・予告展』
出展建築家：丹下健三
○公開時間9:00～17:00（最終受付は16:30まで） 無休

⑪移動型キオスクー小さな建築プロジェクト『つばや』
設計：堀部安嗣×ウッドワン
○公開時間9:00～17:00（最終受付は16:30まで） 無休
※売店としてお茶の販売（テイクアウト）を行います。

※10月4日（土）は式典のため、神勝寺 禅と庭のミュージアムには一般の方は終日入場いただけません。



Courtesy of Yasushi Horibe Architect & Associates



Seijo Villa (Kenzo Tange House)
Photo: Kenzo Tange Courtesy of Michiko Uchida

左 / 神勝寺内に設置されたキオスク「つばや」とその設計者、建築家・堀部安嗣。

右 / 建築家・丹下健三の自邸「成城の家」。

神勝寺エリア

福山駅(車)	約25分	禅と庭のミュージアム
福山東IC	約40分山陽自動車道	
福山西IC	約25分山陽自動車道	
福山駅(バス)土日祝 6番乗り場「みろくの里」行き	直行約30分鞆鉄バス	
福山駅(バス)平日 6番乗り場	約30分鞆鉄バス	天神山 徒歩15分

バスをご利用の場合
※鞆鉄バス【直行便】(土日祝):福山駅6番乗り場「みろくの里直行」行き「神勝寺」下車。
※鞆鉄バス【路線バス】(平日):福山駅6番乗り場「千年橋」『阿伏見』『常石』『内海農協』行き「天神山」下車、徒歩15分。
※神勝寺から福山駅へお戻りの際は、神勝寺から徒歩15分の最寄りバス停「山南農協(さんなん・のうきょう)」よりご乗車ください。
※乗車時刻等は「鞆鉄バス」にお問合せください。電話番号084-952-3100